

## 体系比較表（施策＋指標）

## &lt; 現行計画 &gt;

基本目標	施策の方向性	主要な施策
I 豊かな自然環境の保全とふれあいの推進 （自然環境） 【成果指標】 ・「水辺とのふれあい」に関する満足度 ・「里地、里山、里海とのふれあい」に関する満足度 ・「自然の生き物とのふれあい」に関する満足度	①優れた自然環境の保全と活用 【進捗指標】 ・天然記念物等指定文化財の巡視回数 ②里地・里山・里海の適正な管理 【進捗指標】 ・地域農業を担う担い手経営体の数 ・海岸漂着ごみの回収量 ・海岸漂着ごみ抑制に関する啓発 ③豊かな生態系の保全 【進捗指標】 ・水質汚濁や生態系の多様性に関する出前講座の実施回数 ④自然とのふれあいの確保 【進捗指標】 ・交流型・体験型農林水産業を主なターゲットとした観光客数 ・ホテル情報員の登録数	●天然記念物等指定文化財の保護・管理 ●保存樹の保護・育成 ●自然環境保全の体制づくり ●森林の保全・利用（里山の再生） ●里地・里山を維持・形成する人材の育成・確保 ●農林業生産基盤の整備 ●農作物の鳥獣被害防止対策の推進 ●農山村地域の活性化 ●里海の環境保全 ●海岸の漂着ごみの対応 ●生態系の連続性に配慮した森林づくり ●生物の生息に配慮した水路・河川・海岸の整備 ●ため地の水辺空間としての整備 ●水質汚濁防止対策による生息環境の改善 ●環境に配慮した農業の推進 ●外来生物に関する啓発の推進 ●自然とのふれあいの推進 ●交流型・体験型農林水産業の推進 ●親水性の高い護岸整備の推進 ●ふれあい活動の場へのアクセス整備 ●ホテル保護の推進
II 環境負荷の少ない循環型社会の構築 （生活環境＋資源循環） 【成果指標】 ・環境基準（大気質）の達成率 ・環境基準（河川）の達成率 ・環境基準（海域）の達成率 ・ごみ排出量 ・ごみの再生利用率	①公害のない生活環境の確保 【進捗指標】 ・大気汚染防止法に基づく工場・事業場立入検査件数 ・事業所排水に係わる工場・事業場立入検査件数 ・騒音規制法に基づく工場・事業場立入検査件数 ・みなし（単独処理）浄化槽設置割合 ②ごみ減量とリサイクル対策の推進	●環境監視体制の充実 ●水質汚濁対策の推進 ●道路交通騒音対策の推進 ●環境負荷の少ない農業の推進 ●廃棄物の発生・排出抑制対策の推進 ●リサイクル事業の推進 ●ごみ処理環境の充実 ●環境美化の推進 ●不法投棄対策の強化 ●既存ストックの有効利用
III 快適な生活空間の確保 （都市環境） 【成果指標】 ・「まちの美しさと親しみ」に関する満足度	①歴史的街並み・文化財の保存整備 【進捗指標】 ・史跡等文化財の定期的な巡視 ・文化財の指定件数 ・多言語による説明看板の設置件数 ・下関市での宿泊客数 ②景観の保全と創出 【進捗指標】 ・鳩島清掃の開催件数 ・市民実体験における「下関らしい景観」を創出している景観づくりが推進されていると感じている市民の割合 ・空き家バンク物件成約数 ③公園・緑地等の整備 【進捗指標】 ・1人当たりの都市公園面積	●郷土に伝わる文化財の保存整備 ●地域環境の向上・観光資源としての活用 ●自然公園等の景観の保全 ●農村・漁村景観の形成の促進 ●景観計画の推進 ●環境に配慮した夜間景観形成 ●空き家、空地対策の推進 ●親しみやすい都市公園の整備 ●緑の基本計画の推進 ●緑化の推進 ●野外レクリエーション施設の整備
IV 未来につながる低炭素の社会づくり （地球環境） 【成果指標】 ・下関市域からの温室効果ガス総排出量 ・下関市域における家庭部門の温室効果ガス排出量 ・下関市域における業務その他部門の温室効果ガス排出量	①地球温暖化対策の推進 ②資源・エネルギーの効率的利用の促進 ③新たなエネルギー利用の展開	●総合的な対策の推進 ●地球にやさしい交通体系の整備 ●地球にやさしい都市環境の整備 ●省エネルギー対策の促進 ●屋上等緑化の推進 ●緑のリサイクル推進 ●下水道汚泥の利用 ●身近な水資源の活用 ●再生可能エネルギーの導入検討 ●水素エネルギーの導入検討
V 環境保全のしくみづくり （人・地域・枠組み） 【成果指標】 ・環境分野に取り組んでいる市民活動団体の数	①環境に配慮した事業活動の促進 【進捗指標】 ・EMS関連セミナー、勉強会の開催回数 ・EMS実施率 ②地域コミュニティの活性化 【進捗指標】 ・環境保全活動に取り組んだまちづくり協議会の割合 ・しものせき美化美化（びかびか）大作戦への参加人数 ・沿岸漁場保全対策事業による海浜清掃延べ参加者数 ③持続可能な社会づくりの担い手の育成 【進捗指標】 ・環境教室・講座の実施回数 ・親子リサイクル教室への参加人数 ・環境リーダー登録人数 ・学校給食における地場産（県産）食材の使用割合（品目ベース） ④国際協力の推進 【進捗指標】 無し ⑤環境影響評価 【進捗指標】 ・地域特性に応じた環境配慮マップの作製 ⑥周辺自治体との環境広域連携 【進捗指標】 無し	●事業所向けの環境保全啓発情報の提供 ●環境マネジメントシステム導入への支援 ●事業者の環境保全への取組支援 ●地域コミュニティ活動の場の確保 ●市民環境美化活動、海岸清掃等取組の支援 ●環境教育による担い手としての意識の醸成 ●市民活動支援と環境リーダーの育成 ●食育の推進 ●市民・事業者への情報発信の充実 ●知的交流の推進（環境関連分野の人的・技術交流） ●国際環境ビジネスの促進 ●環境配慮の仕組みづくり ●自治体間の情報交換・相互視察

※グレー部分は次期計画で取り扱わない予定

## &lt; 次期計画（案） &gt;

基本目標	施策の方向性	主要な施策（イメージ）
I 豊かな自然環境の保全と活用 （自然環境） 【KGI（案）】 ・自然環境にふれる機会に満足している市民の割合	①生物多様性の保全 【KPI（案）】 ・自然保全活動参加人数 ・生物多様性に関心を持つ市民の割合 ②自然とのふれあい・活用の推進 【KPI（案）】 ・自然体験活動参加人数 ・自然環境にふれる機会があると感じる市民の割合 ③自然環境の維持管理 【KPI（案）】 ・地域の自然環境活動団体数 ・地域の自然環境が適切に維持管理されていると感じる市民の割合	●外来生物に関する普及啓発の実施 ●生物多様性保全活動の実施 ●地域団体等との協働による保全活動の推進 ●自然観察会・自然体験イベントの開催 ●自然とふれあう機会の創出 ●地域資源としての自然環境の活用 ●森林・里山等の維持管理活動の推進 ●地域主体による環境保全活動の支援 ●担い手づくり・協働の推進
II 安全・安心で快適に暮らせる生活環境の確保 （生活環境） 【KGI（案）】 ・生活環境が良好だと感じる市民の割合	①生活環境の保全 【KPI（案）】 ・環境基準達成率（大気・水質） ・公害苦情件数 ③健康で快適な生活環境づくり 【KPI（案）】 ・空き家・空き地に関する相談件数 ④環境美化の推進 【KPI（案）】 ・ポイ捨て等に関する苦情件数 ・地域美化活動参加人数	●環境基準達成状況の把握・公表 ●環境監視体制の充実 ●公害防止に関する指導・啓発 ●空き家・空き地に関する啓発 ●健康で快適な生活環境に関する普及啓発 ●ポイ捨て、飼い犬ふん放置、落書き防止の啓発 ●路上喫煙禁止に係る指導・啓発 ●地域環境美化活動の支援
III 自然と調和した脱炭素社会の構築 （地球環境） 【KGI（案）】 ・温室効果ガス排出量	①脱炭素型ライフスタイルへの転換 ②脱炭素型まちづくりの推進 ③再生可能エネルギーの導入促進 ④気候変動への適応	●脱炭素型ライフスタイルの推進 ●環境配慮行動の促進 ●環境負荷低減に向けたまちづくり ●公共交通等の利用促進 ●緑地の保全、緑化の推進 ●再生可能エネルギー導入促進 ●地域資源を活用したエネルギー利用 ●エネルギーの地産地消の推進 ●気候変動リスクへの対応 ●熱中症・災害対策 ●気候変動に関する情報発信
IV 循環型社会の形成に向けた資源循環の推進 （循環型社会） 【KGI（案）】 ・市民1人1日当たりのごみ排出量	①ごみの発生抑制の推進 ②資源循環の推進 ③廃棄物の適正処理の推進	●4R運動の推進 ●食品ロス削減の推進 ●分別・リサイクルの推進 ●地域内資源循環の推進 ●資源循環に関する普及啓発 ●一般廃棄物の適正処理 ●し尿処理体制の充実 ●産業廃棄物の適正処理推進 ●不法投棄防止対策 ●漂着ごみ対策の推進 ●災害廃棄物対策
V 多様な主体が連携し環境施策を推進する仕組みづくり （環境基盤施策） 【KGI（案）】 ・環境に関心を持ち、行動できる人材が地域に育っている 市民アンケート調査（例：「環境課題に関心がある」等の割合） ・地域での環境活動が自発的かつ継続的に行われている KPIの達成度を複合的に評価 ・誰もが環境について学び、次世代へと学びが広がる地域になっている KPIの達成度を複合的に評価	①環境教育・環境学習の推進 【KPI（案）】 ・環境学習参加人数 ・環境学習を実施した学校数 ②多様な主体との連携・協働 【KPI（案）】 ・環境活動団体数 ・市民・事業者等との協働事業数 ③環境配慮行動を支える基盤づくり 【KPI（案）】 ・環境配慮行動に取り組む市民の割合 ・環境と暮らしの関わりを理解している市民の割合 ・環境配慮行動につながる制度・取組の利用件数	●学校等における環境学習の推進 ●幅広い世代への環境教育推進 ●環境教育を担う人材の育成 ●市民・事業者・団体との連携・協働促進 ●地域主体の環境活動支援 ●環境活動ネットワークの形成 ●環境配慮行動につながる仕組みづくり ●環境と暮らしのつながりが実感できる情報発信 ●防災、健康、教育等の分野と連携した環境施策の推進

※赤字は現行計画に無い新規の取組

※赤太枠の事業は、現行下位計画に取り扱いないもの